

第23回 警察署協議会連絡会議

開催日時	令和7年11月27日（木）午後1時15分から午後2時05分（50分）	
開催場所	奈良県警察本部第二会議室	
出席者	警察署協議会	近田会長（奈良）、森田副会長（奈良西）、大久保会長（生駒） 山野副会長（郡山）、森村会長（西和）、藤井会長（天理）、 井上会長（桜井）、小西会長（橿原）、渡邊会長（高田）、 成井会長（香芝）、栗山会長（五條）、豕瀬副会長（吉野）
	公安委員会	菊池委員長、橋本委員、和田林委員
	警察本部	宮西本部長、泉警務部長、杉田特命参事官 辻野広報相談課長、辻方広報官（司会）
	事務局	角谷補佐、広報・広聴係長
議事等概要	<p>1 奈良県公安委員会委員長挨拶</p> <p>平素から、警察署協議会の運営にひとたならぬご尽力をいただき、お礼申し上げます。警察署協議会は「警察改革」の柱の一つである「国民のための警察の確立」を実現するため、平成13年6月に設置されました。県警察にあっては、12警察署の148名に協議会委員を委嘱し、地域住民の方々の意見を警察行政に反映させるべく、鋭意、活動いただいているところです。公安委員会としては、県民の代表である各委員から、ご意見、ご提言をいただき、県民の視線や立場に立った警察活動をより一層、強力に推進するよう県警察を督励して参ります。結びに、各警察署協議会が、地域に密着した警察活動の推進に大きく寄与していただくことをお願いいいたしまして、挨拶といたします。</p> <p>2 警察本部長挨拶</p> <p>平素から警察活動各般にわたり、ご支援・ご協力を賜り、また、それぞれの警察署協議会において警察の業務運営について貴重なご意見をいただき、厚く御礼申し上げます。最近の治安情勢は、刑法犯の認知件数は本年も増加傾向で推移し、特に特殊詐欺については、警察又は検察を名乗ったり、携帯電話で接触を図ったりする手口が急増するなど、昨年を上回る勢いで認知件数・被害額ともに増加している深刻な状況にあります。また、交通情勢については、「第11次奈良県交通安全計画」で今年度までに交通事故死者数20人以下とすべく各種</p>	

取組を行ってきたところであります、昨日（令和7年11月26日）時点で22人となっており、これ以上発生させられない状況となっています。こうした情勢の下、警察署の管轄区域ごとに傾向の違い等が見られ、各警察署においては地域の情勢に合わせた各種取組を着実に実施しているところです。県警察では、これら防犯や交通安全、さらには防災など、県民の皆さんに役立つ情報の発信に力を入れています。これまでの県警ホームページやフェイスブック、県警安全・安心アプリ「ナポリス」やインスタグラムに加え、自治体の広報誌や自治体SNSなど、様々な関係者の協力を得て情報を発信しています。警察活動に対する県民の理解と協力を得るために、こうした情報発信が極めて重要であると考えております、皆さまのご意見を頂きつつ、今後も積極的かつ効果的な警察広報を推進してまいります。本日の会議では、警察署協議会における効果的な取組についてご紹介いただけるということで、非常に楽しみにしています。皆様方には、今後とも地域住民の代弁者として、ご活躍賜りますようお願いいたします。

3 出席者紹介

司会から、警察署協議会代表者、公安委員会、警察本部の出席者の順で紹介した。

4 警察署協議会の活動事例発表

3警察署協議会（奈良警察署協議会、香芝警察署協議会、西和警察署協議会）の会長が活動事例を交えた取組を発表の上、意見交換を行った。

ア 外国人観光客等による犯罪等について（奈良警察署協議会）

＜発表の要旨＞

奈良警察署協議会では、以前から、インバウンド（訪日外国人旅行者）の増加による治安の悪化を懸念する声が上がっており、外国人を含む観光客の犯罪被害や、日本の文化や慣習になじみのない外国人観光客等のマナー関連のトラブルについて、関心の高い事柄となっていた。このような警察署協議会委員の意見を受けて、奈良警察署では、

- ・ 多言語を話せる警察官が「D J ポリス」となり、交通ルールの啓発や、奈良公園周辺における鹿との接し方についてのマナーの呼びかけを実施
- ・ 外国人を含む観光客が犯罪被害に遭わないよう、英語や中国語でチラシを作成し、犯罪に対する注意喚起を実施する等の対策をしていただいた。

実際に、奈良警察署では、観光客をターゲットとして、人混みに紛れてスリを繰り返していた外国籍の男を検挙したほか、奈良公園周辺において、外国人観光客とみられる女性を狙って下着等を撮影する事案の犯人を検挙したと発表

されている。

以上のように、奈良警察署には、地域住民を代表した警察署協議会員の声を、警察の活動に反映していただいた。

イ 平素における災害への備えについて（香芝警察署協議会）

＜発表の要旨＞

令和7年2月に開催された警察署協議会において、警察署使用不能時における機能移転の代替施設について、現状の説明を受け、それに対する意見を求められた。現状では、香芝警察署管内の西端に位置する「智辯学園奈良カレッジ」と、災害時における機能移転代替施設として協定を結んでいるが、同校のみに頼ることについて警察署協議会で意見を交わしたところ、新たに別の施設とも協定を締結するべき、という意見があがり、さらに、移転先候補についても意見を求められたことから、その1つとして「畿央大学（学校法人冬木学園）」を提案した。

これを受け、香芝警察署は速やかに各種調査を実施し、立地や周辺環境等の諸条件が合致したこと、また、移転先法人のご理解を得られたことから同大学施設を移転先候補として決定し、本年10月には、同大学施設を移転先とする協定を締結していただくに至った。香芝警察署や大学関係の皆様が、有事における警察機能を維持し、住民の安全・安心を守ることを最優先事項として捉え、行動に移していただいた賜物であり、警察署協議会の諮問・答申における最大の効果があったと受け止めている。

ウ 特殊詐欺被害防止対策の推進について（西和警察署協議会）

＜発表の要旨＞

令和7年6月の警察署協議会において、西和警察署から、同署が実施している特殊詐欺被害防止対策として、若手警察官3名を巡回連絡の専従員に指定し、特殊詐欺の手口や国際電話の利用を休止する手続について「紙芝居を用いた巡回連絡時の被害防止啓発活動」の説明があり、実際に紙芝居を見た上で、これらをより一層効果的に推進していく方策について諮問がなされた。

警察署協議会委員からの意見としては、紙芝居は分かりやすかったものの、

- ・ 巡回連絡で紙芝居をしに来た警察官が、本物の警察官か否か、地域住民は区別できない
 - ・ 紙芝居を見て特殊詐欺犯罪グループの手口が分かったが、このような情報を、地元自治体が発行している広報誌にも掲載してほしい
- といった意見が出された。

このような意見を受け、西和警察署には管轄する7町の自治体に働きかけをしていただき、各自治体の広報担当者と調整のうえ、警察署で作成した特殊詐欺被害の防止対策に関する情報の原稿案を広報誌に掲載していただける運びとなった（7町のうち、6町で8月号又は9月号で掲載）。

さらに、広報誌の紙面には管轄する交番勤務員の顔写真を掲載する等、地域住民に親しみを持ってもらえるレイアウトとなるよう工夫されたようである。

以上のように、私たち警察署協議会委員の意見を、西和警察署により地元広報誌の内容に反映していただいた。

(4) 総括コメント（警察本部長）

各警察署協議会の代表の皆様、本日は発表ありがとうございました。警察署協議会は、地域住民の皆様の声を警察の活動に反映させる大変重要な機関である。せっかくの機会であるので、それぞれの発表について意見を述べさせていただく。

- ・ 奈良公園周辺は大変多くの観光客が訪れる場所であり、警察としても、観光客の方に楽しく過ごしていただく、また、地域住民とも良好な関係を築いていただき、それぞれに平穏に過ごしていただく環境を作っていくなければならないと考えている。その中で、言葉の壁というのは高いハードルとなっているが、「D J ポリス」は、多くの言語を話せる警察官が奈良警察署に集まつたことから実施できた取組であった。警察では、このように、観光客等に対する直接的な働きかけ以外にも、関係機関への働きかけなど、間接的な働きかけも実施している。今回のように、地域における課題をご指摘いただきて、我々の活動に反映できればと考えている。
 - ・ 災害への備えについては、現在、警察本部や警察学校といった代替施設がある奈良警察署を除き、それ以外の各警察署では災害時の代替施設を2か所準備していくよう進めているところである。我々警察が、災害時においてもすぐに活動を再開できるようにするために、代替施設の確保が重要である。各警察署協議会委員の皆様にも、それぞれの警察署に対し、良い代替施設の候補があればご提案をいただきたい。
 - ・ 奈良県は人口あたりの特殊詐欺の被害額が全国的にも大きい。限られた警察官の数で、地域住民の皆様に声を届けていくのは難しい問題であり、各警察署には様々な工夫をしてもらっているところである。今回、西和警察署協議会からは、特殊詐欺をテーマに広報誌に情報を掲載していただいたということでご発表いただいたが、同署では、以前に管内の河合町で「交通安全」をテーマに紙面を作成していただいたことがあり、そのときのノウハウを生かして取り組めた事例である。西和警察署以外にも、同様に自治体と連携をしている警察署はあるが、警察署協議会委員の皆様には、他に連携を強化すべき機関についてご指摘、ご提言をいただければありがたい。
- 本日、ご出席いただいた皆様には、こうして議論したことを各警察署協議会に持ち帰っていただき、各協議会で活用していただきたい。本日は、皆様の声が警察活動への大きな糧となると改めて感じた。ありがとうございました。